

2023年立命館朝鮮近現代史研究会 大邱近代歴史遺跡の調査

LEE Seunghyun(D1)

研究活動①

時間：2023年7月26日

テーマ：大邱における近現代歴史遺跡地についての事前勉強会
内容

- ①大邱における近現代歴史場所についての報告
- ②歩兵80連隊、慶北大学博物館、大邱植民地歴史博物館、慰安婦歴史館などについての事前調査
- ③全体的なスケジュールの確認と博物館予約



研究活動②



時間：2023年9月5日~8日

テーマ：大邱における近代歴史遺跡についてのフィールドワーク
内容:

大邱における近代歴史遺跡を巡って、植民地期大邱の歴史に対する学を深めた。また、大邱に駐屯していた歩兵80連隊司令部、慰安婦歴史館、大邱植民地歴史博物館、慶北大学博物館に訪問して、研究者との交流会を行なった。

研究活動③

時間：2023年10月18日

テーマ：エゴドキュメントから見る植民地研究について
内容:

高麗大学亜細亜問題研究院教授である李炯植先生を招待して、「エゴドキュメントから見る植民地研究」についてをテーマに、討論と研究交流を行った。



研究成果

- ・権太杰「北満洲における日本の朝鮮人統制政策1905年-1945年」（博士論文）
- ・小川拓郎「開化派官僚李圭完の対日協力-植民地期を中心に-」（修士論文）
- ・金熙奎「植民地期における王族・李垠の職務に関する考察」（修士論文）
- ・LEE Seunghyun「総動員体制下における朝鮮総督府の軍事援護政策」（2023年5月12日「京都コリア学コンソーシアム」発表）